

融雪剤事件

問 山田工務店からの報告内容は

答 原因は明確にはできなかつたとの報告



小林英雄議員

問

この事件の再発防止には、全容解明と問題の把握が欠かせません。「発注したのと異なる成分の商品が届いたのに気づかず納入した」という、山田工務店から届いた原因の報告内容を明らかにしてください。

村長

契約の段階から間違っていたことは申し訳なく思っています。今後は、手続き、納品、製品確認など、間違いなく改善するので、ご理解願いたい。

建設水道課長

5月10日に届いた報告は、「韓国のジェイマ社を通して、受託製造元の、中国チャングー社に何回



融雪剤散布状況

問

も照会したが、明確な回答がなく、最後は『コンテナ積み込み時に、塩化マグネシウムと間違えたのではないか』との回答があり、原因は明確に出なかつた。』というものでした。

腑に落ちない不誠実な回答で、真面目に原因解明に努力したのか、甚だ疑問です。また、山田工務店との契約書では、2トン車で納品の場合、4トン車以上で納品の

場合とでは単価が違うのに、全て2トン車使用の高い単価で請求されています。その真偽を確認しましたか。

建設水道課長

散布受注会社と山田工務店に、「クレーンの付いたトラックで、積載重量2.7トン前後の車で運搬した」ことを確認しています。

また、「自社で所有するクレーン付きトラックが4トン未満であるため、2トン車の価格で見積を提出した」と、山田工務店から聞いています。支払は妥当だったと思います。

【ごみ処理施設候補地・ごみ減量対策】

問

ごみ処理施設広域化の施設候補地の選定では、情報公開不足と民意が軽視されるという問題がありました。新たに活動する「ごみ処理施設検討委員会」と、「ごみ減量懇話会」の任務には重いものがあります。検討委員会が募った候補地に、自治体推薦は出しましたか。また、白馬村のごみ減量化について、どう考えていますか。

村長

自治体推薦はしていません。減量化は三市村共通の課題で、白馬村も懇話会を設置して議論しています。村民意識を高める中、直接持ち込み量の減少、リサイクル物量増加の傾向が現れ始めています。

問

ごみ削減計画の具体策は。

環境課長

平成26年には、19年対比で18%の削減を目指しています。

問

生ごみのたい肥化センターを作る考えはありませんか。

村長

SPF養豚場と連動したものが出来れば良いと考えています。

問

ごみ問題は、ごみ減量化を含め、「これだけなら村民誰もが納得できる」というものを作らなければいけません。情報公開を徹底し、飯森問題は2度と起こさないとの村長の決意をお聞きしたい。

村長

村民の理解を得られなかつた行政の進め方を反省し、2度と誤らないようにします。